佐倉市・酒々井町 選出

千葉県議会議員

市民ネットワーク

伊藤とし子

県政リポート
2022年初夏号

連絡先　市民ネットワーク千葉県
〒260-0013
千葉市中央区中央 4-10-11 アイビル4F
電話・FAX　043－201－1051
mail　info@chiba-kennet.com

ブログ 伊藤としこのひとりごと →

予算委員会（3月7日）で質問。驚きの情報が！

衝撃！　こんなに多い自宅死

新型コロナで自宅で亡くなった人（千葉県警調べ）

- ◆第5波（デルタ）　2021年8月～9月　**24人**
- ◆第6波（オミクロン）2022年1月～2月　**42人**

病床逼迫で入院できず、自宅で亡くなった方がこんなにいます。

千葉県は、昨年8月の第5波で、自宅療養者が1万人を超えた反省から「臨時医療施設」を2か所作りましたが、今年の第6波ではガラ空き状態。一方で、自宅死が42人も出るとは異常です。

1 原因はミスマッチ

2か所の「臨時医療施設」（稲毛区と流山市）は共に、デルタ株対応として作られ、重症化リスクの高い軽症者用で短期入所でした。ところが、第6波のオミクロン株では、高齢で介護度の高い患者が激増。長期入院が必要で、介護の人手が数倍必要となり、せっかく作った「臨時医療施設」では対応できず、宝の持ち腐れに・・・

2 臨機応変の体制づくりを要望

神奈川県では、昨年暮れにオミクロン株の流行を予測し、高齢者対策を講じていました。千葉県では、「予測と対策」が欠けていたとしか思えません。縦割り行政の弊害で、コロナ対策の部署が細分化され、情報が共有できていないことが原因です。

PCR検査を拡充し、ゲノム解析で次に来る変異株を予測し、臨機応変に対応できる医療体制づくりを要望しました。

3 そして新たな臨時医療施設が

4月26日、富里市のエアポートプラザホテルに「富里臨時医療施設」が開設しました！

- ◆1棟借上げ。48床。24時間対応
- ◆医療機関で治療を終えた**高齢者**が、自宅や福祉施設に戻るまで、短期間療養する。
- ◆軽症患者への投薬治療（医師の紹介状が必要）
- ◆医師1人、看護師5人、介護スタッフ2人

「命の砦」公立病院を減らさないで！

新型コロナの変異株オミクロンが猛威を振るった2月初旬。千葉県の病床使用率は70%を超え、昨年夏の第5波以来、再び病床逼迫に陥りました。

コロナ禍で一番がんばって患者を受け入れているのが**公立病院**です。しかし、国は、公立病院を減らし、医師も減らす計画を進めています。

国が進める公立病院つぶし&ベッド数削減

2019年、厚労省は医療費削減のために、公立病院の縮小・廃止計画として、全国で424病院をリストアップ。千葉県でも、千葉市立青葉病院など10病院が対象となり、波紋を呼んでいます。

また国は、全体で毎年約1万床ずつ病床数を削減しており、削減に応じた病院に対し、褒美として給付金を支給しています。医療版「減反政策」と呼ばれ、給付金の財源は何と消費税です。

社会保障の充実が目的であるはずの消費税を、病床削減のために使うとは、本末転倒、国民を愚弄しています。

大阪で何が起きているか！？

コストカットのために、公立病院つぶしに飛びついたのが大阪府です。

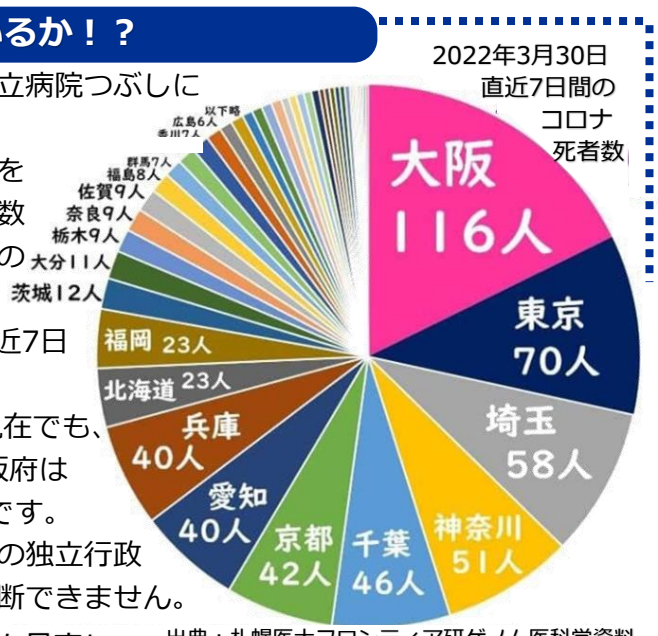
橋下府知事時代、公立病院を全て独立行政法人化し、医師数を半減。その結果、全国最悪の医療崩壊が起きています。

右の図は3月30日現在「直近7日間のコロナ死者数」です。

ピークが収まった5月3日現在でも、100万人当たり5.1人と、大阪府は全国平均の２～3倍の死亡率です。

千葉県議会でも、県立病院の独立行政法人化を求める声があり、油断できません。

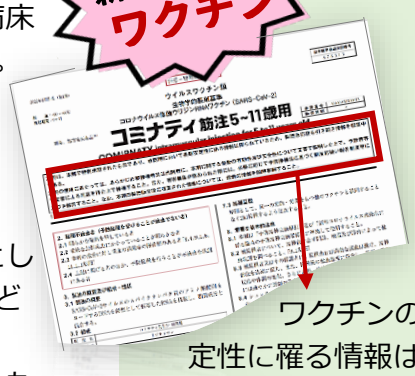
千葉県の公立病院統廃合計画を見直し、医師と看護師を増やすよう、引き続き求めていきます。



出典：札幌医大フロンティア研ゲノム医科学資料

子どもに打つ？ 打たない？

新型コロナワクチン



2月、厚労省は5歳から11歳までの小児に対する新型コロナワクチンを特例承認し、接種が開始されました。

「特例承認」というのは、承認審査を短縮した特例的な承認。今回のファイザー社ワクチンは、わずか2250人の治験しか行っていません。

ワクチンの説明書には「承認時において長期安定性に罹る情報は限られているため、製造販売後も引き続き情報を収集中である」という但し書きが…

エビデンスが不十分だから要注意　という意味であり、いわば人体実験をしているようなものです。

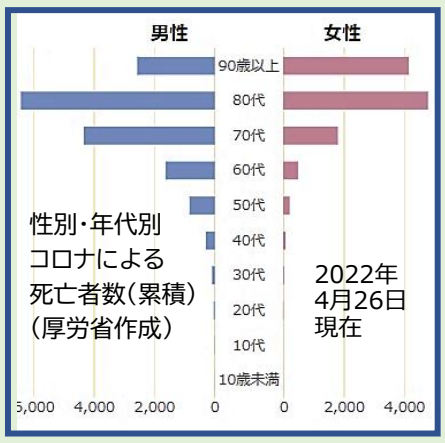
怖い副反応

4月13日の厚労省資料によると、わずか2か月未満で、5歳～11歳の副反応が21人も出ています。内8人は重篤で、1人は心筋炎の疑いがあります。小児期で心筋炎になれば、長い人生での影響は計り知れません。

子どもがコロナで重症化する例は少ない

下図はこれまでコロナで死亡した人の累積数です。（累計約29,900人）

このうち10歳未満の死亡例は3人です。

泉大津市では、5歳～11歳へのコロナワクチン接種について、極めて慎重な姿勢をホームページで示しています。参考になさって下さい。

泉大津市のサイト